



# ハッピーテラス通信

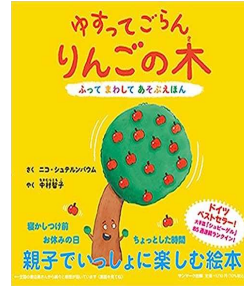
令和5年7月号

ハッピーテラスキッズ柏ルーム

04-7193-8205

## 1 職員からの推薦図書

題名 「ゆすってごらんりんごの木」  
 著者名 ニコ・シュテルンバウム  
 参考価格 1,210円(amazon)  
 推薦者 竹友 佑太(我孫子)



子どもと一緒に絵本を揺らしてみたり、ふいてみたりなど参加型の絵本になります！  
 実際に体を動かしながら読むので、最後まで集中して読めます！  
 みんなで楽しく読んでください！

## 2 7月の追加ご利用可能日程

(記号：○・・・空きがございませす △・・・若干名の空きがございませす)

日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
10:00			△	△							△			△	
11:15						△								△	
13:00				△											
14:45															
16:00			△				△							△	

日付	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
10:00			△							△						
11:15					△											
13:00										△						△
14:45				△	△		△					△				
16:00													△			

### 3 療育コラム 「褒めるポイントについて」

今回は、褒めるポイントについてお話していきたいと思います。

これまでもお話の中で幾度かお伝えしてきたかもしれませんが、重要なことなので、改めてお話していきたいと思います。

突然ですが、皆様。

ご自身のお子様を最近、褒めてあげたことはありますか？

私には、4歳の息子がいるのですが、私は彼に「毎日、保育園に行ってくれてありがとう。いつも頑張っていてえらいね!」と褒めています。

最近どころか、ほぼほぼいつも同じ内容で褒めているように思います。

このようにお伝えすると、人によっては、それだけのことで褒めるのは甘い、と思われる方もいらっしゃるかもしれません。

確かに、そういう見方もあるし、大人の私としてはごもっとも、甘やかし過ぎているかもしれません...と素直に思う所もあります。

しかし、ここでのポイントは、子どもの立場からするとどうなのか、という点です。

先ほどの私の息子の例で見ると、4歳の息子は親の都合で家ではなく、保育園に登園しているという背景状況があるわけです。

加えて、これまた親の都合で、今年の4月から別の保育園に転園しているわけで、彼としては、あんまりよく知らない人達の集団で過ごす事を強いられているのです。

彼の立場からすると、これはとんでもない苦痛だと思います。

正直、私なら耐えられるか微妙なくらい理不尽な状況とすら言えます。

そうなってくると、4歳にして、大きく嫌がる事なくそんな毎日を受け入れて準備をし、登園している息子を褒めるのは至極当然の事だと、私は思うので、褒める、という行動に繋がるわけです。

正直、大人の我々からすると、子どもの褒めて欲しい事柄は、そんな事で?と一笑に付したくなるようなものも多いように感じます。

しかし、冷静に子どもの立場からすると、すごく大きな出来事である事もまた、同様に多くあるのではないのでしょうか？

その際、大人の立場からではなく、子どもの目線で物事を捉えた上で、お子様の頑張りを認めてあげる事で、褒める機会を増やしてき、褒められた経験が蓄積していくと、お子様の言動にも良い変化が生じるやもしれません。

身近な家族から褒められ認められる経験は、前回までお話していた自己肯定感の向上にも大きく関わっています。

自己肯定感が高まり、ありのままの自分を認められるようになると、周囲の他者の事も素直に褒められる素敵な人になり、適切な対人関係の構築にも繋がっていきます。

日々、お忙しい中、お子様の視点から物事を考えるのは労力のいる事かと思われるため、ふとした時にでも気付いて、お子様の事を褒めてあげられる時間が少しでも増えたら、私としても幸いです。

それでは、次回のコラムでお会いしましょう。